

平成29年度 筑北村協働事業支援金をご活用ください

住民のみなさんが、自らの地域の環境整備等の課題解決を行ったり、支え合う仕組みを整えるなど地域の活力を生み出すような活動を行う場合の経費の一部を支援する制度に「筑北村協働事業支援金」があります。平成28年度も多くの事業で活用いただきました。

29年度も申請は随時受け付けています。申請された事業は、年3回（5・8・12月）の選定委員会で採択の可否について審査されます。

◆平成29年度の予定

- 5月審査分 申請受付〆切 4月28日（金）
- 8月審査分 申請受付〆切 8月4日（金）
- 12月審査分 申請受付〆切 12月1日（金）

※12月審査分以降に申請を受け付けた場合は、翌年度の審査対象となります。

〔平成28年度 支援事業一覧〕



【永井中村常会】

【乱橋西村常会】

団体名	事業名	事業内容等	支援金額
坂北みらい宿	坂北みらい宿ラベンダープロジェクト	坂北駅西側の遊休農地を利用してラベンダーを栽培し、景観づくりに役立てるとともに、収穫したラベンダーを用いたお手玉などのグッズを開発した。	100,000円
六工常会	六工集会所コンクリート工事業	地域の住民により集会所前の歩道や駐車場のコンクリート舗装を行い、利便性の向上を図った。	100,000円
青柳宿切通しの会	里坊稲荷神社「狐の嫁入り」焼印ホルダー作成配布事業	7年に一度の奇祭「狐の嫁入り」に合わせ、祭りの焼印が入ったキーホルダーを作成し、観光客等に配布し、PRを行う。	45,900円
田屋常会	ゴミステーション前コンクリート舗装改修事業	常会のゴミステーション前の舗装の傷みが激しかったため、地域住民が舗装の撤去と打ち直しを行った。	100,000円
中村区	区民館テーブル再生事業	座卓の脚を付け替えることにより椅子に座って使えるテーブルに再生し、だれでも利用しやすいようにした。	100,000円
乱橋西村常会	ニカンジ線（赤線）コンクリート舗装事業	地域住民が普段利用する村道認定外道路（赤線）の歩道が傷んだため、住民が協力して舗装をし直した。	100,000円
永井中村常会	集荷所（倉庫）屋根の張替え・サビ対策と公民館広場遊具のサビ対策事業	集荷所（倉庫）のトタン屋根の張替え、雪止めの塗装と公民館広場遊具の塗装を常会内住民の協働作業で実施した。	53,200円
四阿屋こだま太鼓	四阿屋こだま太鼓子ども育成事業	途絶えていた子ども連を復活させ、活動を活性化するため子ども用の法被を作成した。	97,200円
六工常会	座卓再生事業	座卓の脚を付け替えることにより椅子に座って使えるテーブルに再生し、だれでも利用しやすいようにした。	59,400円
里山を生かす会	茶道用炭づくりを通した里山整備と産業起こし事業	「菊炭」と呼ばれる茶道用炭を焼く窯を作成し、炭づくりを通して里山の整備と間伐材の有効利用を図った。	100,000円
竹場区	竹場区稲荷神社 屋根補修事業	枝の落下により破損した稲荷神社の屋根を住民で補修し、地域文化財の保護に努めた。	83,548円
青柳区祭保存会	七年に一度「奇祭」狐の嫁入り行列文化継承事業	祭りの伝統を継承するため記録映像を作成した。また、青柳宿のPRと地元一体感の醸成のため屋号入り軒先提灯を作成した。	100,000円

みなさんの地域やグループでも実施したい事業がありましたら、まずはご相談ください。

お問い合わせ先：企画財政課企画係（電話 66 - 2111）

平成29年4月から上下水道料金が変わります

平成29年3月 筑北村

本村の上下水道料金は、合併時での調整事項として、概ね3年ごとに見直しを行うこととされています。今回は平成23年1月に水道料金のみの改定を行い、その後平成26年4月に消費税率等の改定分3%相当の改定を行っています。しかしながら、近年の人口減少に加え、節水器具の普及等により使用水量が減少し、料金収入も大きく落ち込んでいます。

一方、整備した水道施設は老朽化が進み、漏水や断水が度々発生するなど、皆さんに安定して水をお届けできなくなる可能性があり、施設の長寿命化を計画的に実施していく必要があります。

安全・安心な水をお届けするため、料金のあり方を「簡易水道・下水道料金等検討委員会」で見直し、平成29年4月1日の水道使用分から、上下水道料金を改定します。（経過措置有り）

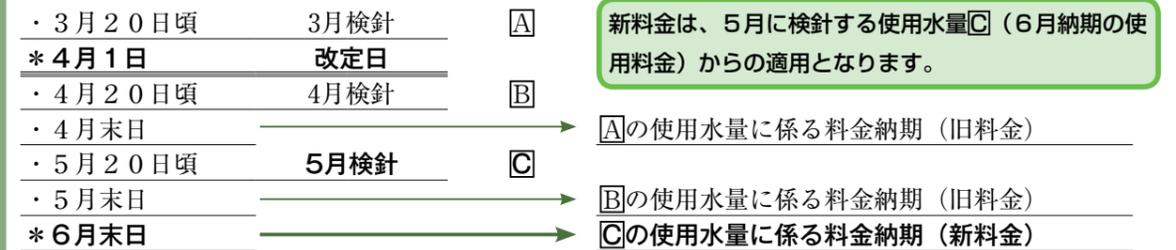
将来に渡って、安全、安心な水をお届けし、安全で適正な放流水を確保するために、皆さんにご負担をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

--- 上下水道料金新旧対照表（消費税等を含みます。） ---

水道料金				下水道料金			
区分	旧料金	新料金	増額	区分	旧料金	新料金	増額
基本料金	1,182円	1,240円	58円	基本料金	1,080円	1,134円	54円
1~5㎡	82円	110円	28円	1~10㎡	51円	65円	14円
6~10㎡	102円	110円	8円	11~40㎡	154円	154円	0円
11~40㎡	185円	185円	0円	41㎡~	164円	164円	0円
41~60㎡	205円	205円	0円	公民館	668円	700円	32円
61㎡~	226円	226円	0円				
公民館	668円	700円	32円				

* 使用水量10㎡以上については、上下水道合計で月額432円の増額となります。

--- 料金計算方法 ---



5月検針C		水道料金（基本料金1,240円）	下水道料金（基本料金1,134円）	上下水道合計
9㎡	従量分計	9㎡×110円= 990円 2,230円	9㎡×65円= 585円 1,719円	3,949円
25㎡	従量分計	10㎡×110円=1,100円 15㎡×185円=2,775円 5,115円	10㎡×65円= 650円 15㎡×154円=2,310円 4,094円	9,209円
45㎡	従量分計	10㎡×110円=1,100円 30㎡×185円=2,775円 5㎡×205円=1,025円 6,140円	10㎡×65円= 650円 30㎡×154円=4,620円 5㎡×164円= 820円 7,224円	13,364円

【お問い合わせ先】建設課上下水道係 Tel 66-2111（代）

村報 **筑北**

第69号

平成29年3月17日発行

編集 筑北村総務課
〒399-7501
長野県東筑摩郡筑北村西条4195番地
電話 0263-66-2111
FAX 0263-66-3370
ホームページ
http://www.vill.chikuhoku.lg.jp

筑北村の人口

総人口	4,775人
男	2,361人
女	2,414人
戸数	1,874戸

（平成29年2月28日現在）





平成29年4月から 介護保険事業が変わります



平成29年4月から要支援の方の訪問介護と通所介護が変わります

介護保険には、要介護の方への介護給付、要支援の方への予防給付があります。その予防給付のうち訪問介護・通所介護については、村が行う地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行します。また、認定を受けなくても「基本チェックリスト」に該当すればサービスを受けることができます。

<いままで>

介護予防サービス

訪問介護
通所介護

訪問看護
訪問リハビリ
福祉用具貸与

<これからは>

地域支援事業

訪問型サービス
通所型サービス

生活支援サービス（安心ネットワーク・緊急通報など）

従来通り介護予防サービスとして受けられます。
※全ての方にケアマネジメントします。

これまでより効果的な
サービスが受けられます

既存の介護事業所による訪問型・通所型サービスをはじめ、介護予防を目的としたひだまりの会、専門職による短期集中型の運動教室など様々なサービスの展開を今後進めます（既存のサービスより利用者負担を軽減）

要支援1・2の方と基本チェックリスト該当者が利用できる 平成29年4月からの 介護予防・生活支援サービス

訪問型サービス

自立した生活ができるように、ホームヘルパーなどによる日常生活支援が受けられます。

訪問介護(今までの訪問介護)	自己負担めやす【1か月につき】	
身体介護(入浴介助)を含む生活援助をホームヘルパーの訪問支援で受けられます。	週1回程度の利用	1,168円
	週2回程度の利用	2,335円

訪問介護A(緩和した基準によるサービス)	自己負担めやす【1回につき】【上限週3回まで】	
身体介護を含まない生活援助をホームヘルパーの訪問支援で受けられます。	20分以上 45分未満	183円
	45分以上	225円

通所型サービス

デイサービスなどで、日常生活向上のための支援が受けられます。

通所介護(今までの通所介護)	自己負担めやす【1か月につき】	
専門職による、入浴を含む日常生活向上のための通所支援が受けられます。	週1回程度の利用	1,647円
	週2回程度の利用	3,377円

通所介護A(緩和した基準によるサービス)	自己負担めやす【上限週2回まで】	
専門職による、日常生活向上のための通所支援が受けられます。	1回につき	266円

輝きさん

～村のお元気なお年寄りをご紹介します～



おおた 太田 ことさん

太田さんは、長野市生まれ。「これからの女性は、手に職を付けたほうがいい」と叔母の勧めもあり、看護師の学校へ進学。嫁ぐまでは、木曾の病院で看護師をされていました。21歳の時に両親から「太田家に嫁に行け」と言われ、ご主人と結婚。ご主人の仕事の関係で、結婚と同時に満州へ渡りました。照れ屋のご主人に、「俺とは、2メートル離れて歩け」と言われ、知り合いのいない大陸で寂しい思いをしました。その満州で終戦を迎えましたが、ご主人は出兵されていたため、3人の子供連れ日本に引き揚げて来ました。5歳の長男に3ヶ月の弟をおぶってもらい、4キロの道程を歩かせなければならなかった時には、胸が痛みました。

その後日本でご主人と合流することができ、東山で農業を始めましたが開拓はとても大変で、わらで編んだ草履が1日でボロボロになるほどで毎日「くたびれて寝るだけ」の生活でした。

苦労続きの太田さんでしたが、7人の子宝に恵まれました。88歳の時に、子供達で米寿のお祝いしようと思いましたが固辞したため、子供さん達が太田さんには内緒で記念誌を作成し、プレゼントしてくれました。(太田さんの宝物です。)

現在も太田家の主婦として、お料理、洗濯、掃除全てをこなします。時期には畑仕事にも精を出します。そんな太田さんにお話を伺いました。

Q. 好きな食べ物は何か？

A. お寿司(トロと海老が特に好き)

Q. 楽しみは何ですか？

A. ・旅行(日本中旅をした。中でも鹿児島のある「知覧特攻平和会館」を見学したときの事は今でも忘れられない。)
・近所の人達とおしゃべり。(姉御肌の太田さんは、ご近所さんから慕われています。)
・お料理や、編み物。

Q. 今までの中で一番辛かったことは何か？

A. 同居していた長男のお嫁さんが、若くして亡くなってしまったこと。

Q. 将来の夢は何ですか？

A. 今の生活を続けていくこと。

ことさんの本



※「苦労は過ぎれば忘れる」と話をしてくれたのが印象的でした。
次回の「輝きさん」は、坂井地域を予定しています。

転倒予防のお話(7)

転倒しやすい場所を屋外と室内で比較するとほぼ同程度のようなです。転倒率は60歳以上が多く、全体の80%になります。年齢で転倒場所を比較すると、60～74歳では屋外の転倒が多く、75歳以上では室内での転倒が多くなります。転倒しやすい時間帯は、朝の6時、夕方の6時、夜の10時が多いようです。年齢別でみると、75歳未満では午後転倒することが多く、75歳以上では早朝や午前中が多いようです。朝方は特に動きにくいので転倒には十分注意が必要です。転倒の一番の原因は筋力低下です。最低限の筋力を向上させて転ばない身体作りをしましょう。



平成29年度 キラリ☆アクア健康教室 参加者募集!!

キラリ☆アクア健康教室では、腰痛・膝痛・筋力アップ・減量等の課題別にグループに分かれ、各々に合ったトレーニングに取り組みます。

体力の維持・増進も図ります。

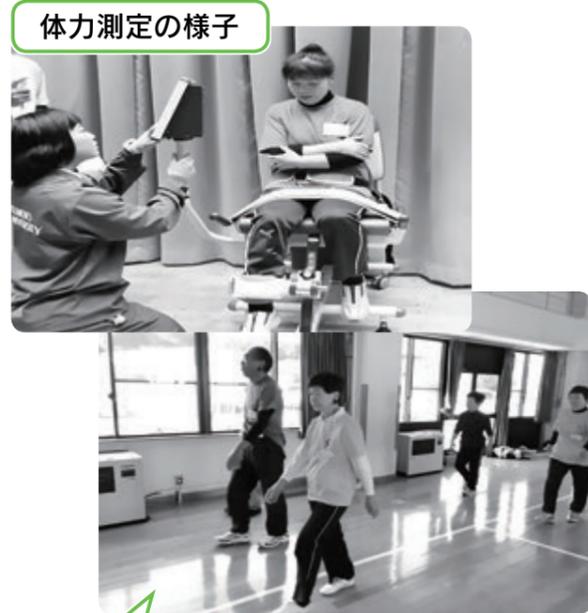


グループトレーニングの様子



腰痛

膝痛



体力測定の様子

松本大学の根本ゼミナールの学生が細かく指導をします。



身体の課題を改善する為にも、通年参加をおすすめします。参加を希望される方は、4月14日(金)までに住民福祉課健康づくり係(TEL66-2111)までご連絡下さい。

時間:9時30分から11時30分
場所:年間を通して3地域を回ります。
日程:生活カレンダーをご覧ください。
年間日程表は、開講式時にお配りします。

平成 29 年度 ロコトレ教室のご案内

平成 29 年度もロコトレ教室(介護予防運動教室)を開催します。どなたでも参加できますので、お誘いあわせの上、ぜひお越し下さい。

日付	内容	日付	内容
4月 6日	ロコモティブシンドロームとは	10月 5日	ペットボトルを使った体操
4月20日	ストレッチ	10月12日	グラウンドゴルフ
5月11日	バランス体操	11月 2日	ボールを使った体操
5月25日	リズム体操	11月16日	ボールを使った体操
6月 8日	リズム体操	12月 7日	腰痛予防体操
6月22日	ウォーキングのポイント	12月21日	腰痛予防体操
7月 6日	野外ウォーキング	1月11日	家の中でできる運動
7月20日	膝痛予防体操	1月25日	家の中でできる運動
8月 3日	膝痛予防体操	2月 1日	ニュースポーツ
8月17日	タオルを使った体操	2月15日	転倒予防体操
9月 7日	タオルを使った体操	3月 1日	まとめ
9月21日	ペットボトルを使った体操	3月15日	まとめ

場 所:本城農村環境改善センター多目的ホール
(送迎も行っています。)

日 時:原則として第1・3木曜日 13時30分~15時00分

持ち物:運動靴、タオル、水分補給用の水またはお茶



皆様のご参加を
お待ちしております!!



*問い合わせ先:住民福祉課 吉池(公)・平田・中条(TEL66-2111)

【ちくほく朝さんぽ】

1月は坂井でいちご狩り体験。「そば処さかい」で蕎麦を割引料金で食べられる特典付きで開催しました。2月には、バレンタインにちなんで「ちくほくくる」で特別にチョコ入りのパンを焼いて頂き、さんぽの後にお茶会をしました。

ただ歩くだけでなく、色々な企画とセットで行い、地域を元気にできたらいいなと思っています。自分の仕事をPRしたい方、地元を紹介したい方など、「ちくほく朝さんぽとコラボしたい！」というご要望は大歓迎です。

さて、人気上昇中の朝さんぽですが、1月に行った時は50人以上の方が参加してくださいました。遠くは横浜からのお客さまもいらっしやり、大変嬉しく思いました。

しかし、規模が大きくなるにつれて、反省点や課題も見えてきました。現在朝さんぽは、3〜4人のスタッフが中心で

行っています。50人にもなると、先頭から最後尾が見えませんが、車道を横切るときなど、安全面の心配もあります。

普段の散歩のように「気軽に歩ける」ことを大事にしたいので、みなさんのペースで歩いてもらいたいと思っています。今の朝さんぽの雰囲気や崩さず、全員に楽しんでもらえるよう、工夫していく必要があると思います。 企画財政課 大場鈴子

【村に人が訪れるということ】

私たちはフットパスを使って、村に活気が生まれる循環をつくりたいと考えています。経済面で言うと、村に人が来れば、買い物や飲食や宿泊などにお金を使ってもらえる為、村が潤ってきます。生産物が売れば、作る意欲も湧いてきます。作ってみようという動きも生まれます。

フットパス以外でも、間もなく完成するサッカー場に、村は年間三千人の来場者（二年後）を見込んでいます。公共施設の多い筑北村は、合宿の村として売り出すことも有効です。が、今のままで果たしてフットパス

やサッカー場を活かすことができるのでしょうか。

私は村に対して、起業を支援する施策を考えてほしいと思っています。これは村を離れた若者のUターンを促すことにも繋がります。「仕事がないから村を出る」のではなく、「村の中で仕事を生み出す」という発想の転換を大人がする必要があります。故郷でも生活できるモデルを示してほしいと願っています。

人を呼び込む道具としてフットパスが有効だと思った根拠は二つあります。一つは、観光の変化です。史跡や名所を巡る観光から、その地域の生活をまるごと体験したい観光へと変わってきました。村にとっては日常の風景や暮らしが、都会にはないのです。それを体験したくて、地方へ足を運ぶ方々が年々増加しています。フットパスの良いところは、大きな箱モノを造らなくてもそのままの資源が喜ばれるということ。筑北村に適した地域振興と言えます。

もう一つの根拠については、次回お伝えします。

企画財政課 飯田智子

第2次筑北村総合計画案について答申が行われました

2月10日に第4回総合計画審議会が開催され、村長から諮問されていた第2次筑北村総合計画（案）について答申が行われました。

答申では、実効性のある計画実現のため、人口減少の抑制策である「筑北村まち・ひと・しごと総合戦略」に全庁的に取り組むことと、財形推計を基本とした、情報公開による住民との協働体制づくり等を求めています。

総合計画は、村議会で議決された後に、パブリックコメントと併せて村のホームページなどで公表されるほか、概要版を各戸に配布する予定です。



山田会長から村長に答申書が手渡される

【いちご狩りの季節】

このお正月より、坂井いちご園でもいちご狩りがスタートしました。おかげさまで、多くのお客様に来園していただき、新聞にも何度か掲載していただき、機会もありました。みなさん、新聞はしっかりと読んでくれましたか？（笑）

先日、企画財政課協力隊主催の「朝さんぽ」とコラボさせていただき、一度に40人を超えるお客様に来園していただきました。坂井いちご園であんなに多くのお客様を迎えることは初めてだったので、活気のあるいちご園を見ることができとても嬉しかったのと同時に、これからいちご園を使った企画をいろいろと考えて、いちご園をさらに盛り上げていきたいです。



産業課 埋橋佳佑

本城らんらん広場が農業功績者表彰を受賞

本城らんらん広場のみなさんが、松塩筑安曇農業委員会協議会より、地域の農業の振興に著しい功績のあった団体として表彰を受けました。

「余った野菜もつたいないよね」という何気ない話から乱橋地区の女性5名がはじめた野菜直売所活動から、学校給食への食材提供など多方面に活動の場を広げられました。およそ20年以上地域に根差した活動を行っており、今後も大いに活躍されることが期待されています。



産業界 鈴木健二

【冬の厳しさと人の温もりと】 筑北村での初めての冬。我が家にあるのは、ホットカーペットとハロゲンヒーター。朝には愛犬の水桶にも氷が張っていることもしばしば。筑北の冬を完全に軽視していません（笑）先日は、トイレの配管が凍ってしまい、緊急で西澤設備さんにお世話になりました。

みなさん、はじめまして。この一月から『地域おこし協力隊』として産業界に赴任することになりました。

【自己紹介】

出身はここ筑北村です。高校を卒業し、その後4年間を神奈川県で過ごし、この度は「ターン」をさせていただく形となりました。現在は、主に『坂北農産物処理加工施設』と『坂井いちご園』で勤務をしており、坂北の加工所では、もえぎとうふ・味噌の加工を、いちご園では、いちごの栽培・園の運営に携わっています。

赴任して一ヶ月が経ちましたが、未熟者ゆえに、失敗と反省の毎日です。何かと不慣れでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお願ひいたします。

産業界 西澤智也

筑北村申請期間：平成29年4月28日（金）
～平成29年7月28日（金）※必着

確認じゃ！給付金。

臨時福祉給付金
(経済対策分)

1人につき1万5千円

※支給は1回です。

支給対象者

平成28年度臨時福祉給付金（3千円）の
支給対象者の方
(平成28年度住民税が非課税の方)

平成26年4月に実施した
消費税率引上げに伴う
所得の少ない方への影響を緩和します。



- 給付金を受け取るためには、**申請が必要です。**
- 申請先は、**昨年（平成28年）1月1日時点でお住まいの市町村です。**
- 市町村ごとに申請受付期間が異なります。
- 住民税において課税者の方や課税者の扶養親族等になっている方、生活保護の受給者である方、申請前にお亡くなりになられた方などは対象外となります。

申請方法：支給対象者となる可能性が高い方には、あらかじめ申請書を送付致します。
筑北村役場窓口または郵送にてお早目にご申請ください。
お受け取り方法：申請書に記載いただく金融機関口座へのお振込みとなります。
お振込みまでの目安は、申請いただいた月の翌月中旬頃の予定となります。

お問い合わせ先

筑北村住民福祉課福祉係 **電話番号：0263-66-2111**

「臨時福祉給付金」を装う
“振り込め詐欺”や“個人情報の詐取”にご注意ください。
市町村や厚生労働省などからきた不審な電話や郵便があった場合は、お住まいの市町村や警察署（または警察相談専用電話（9110））にご連絡ください。



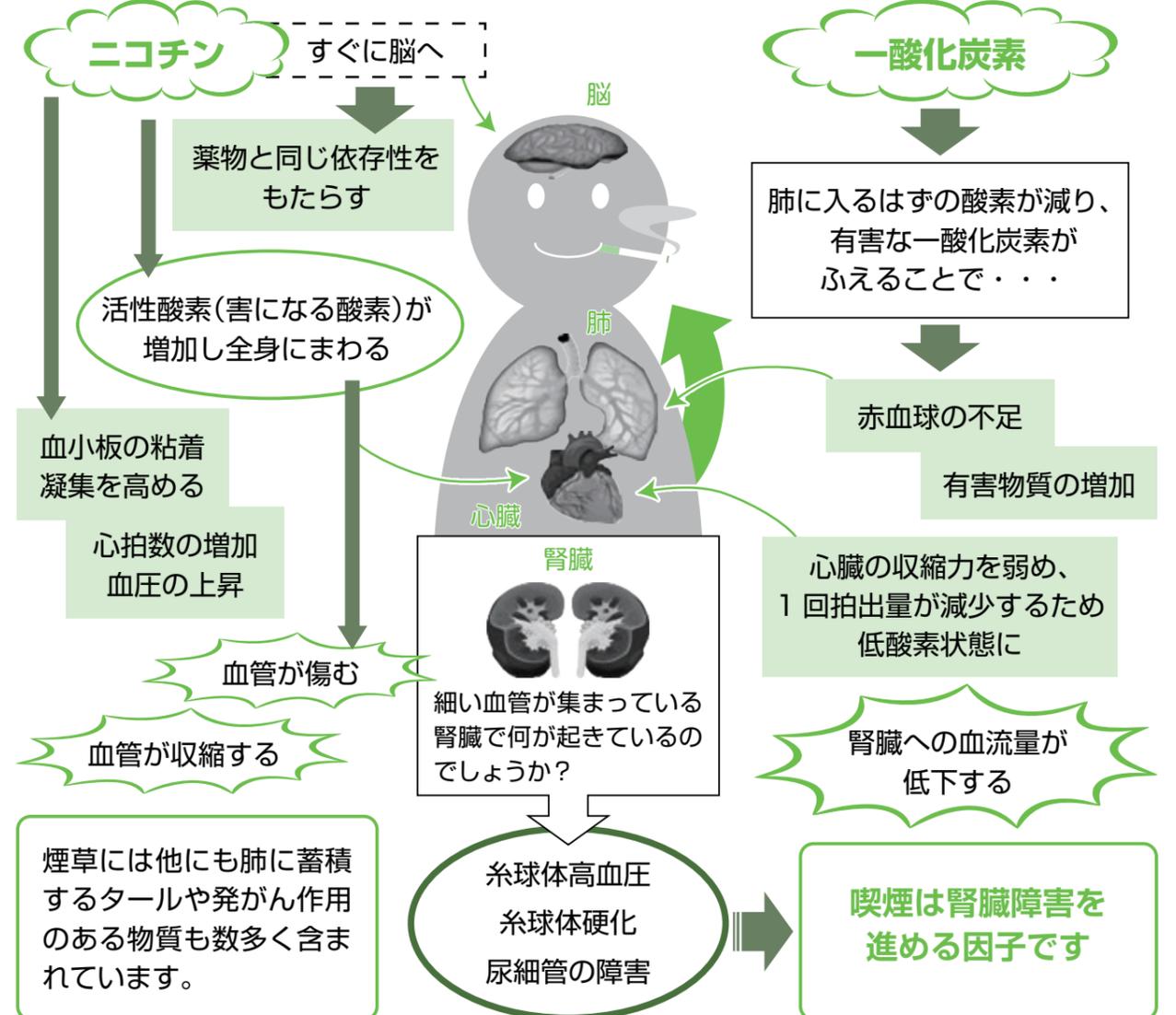
健康
ほっと
情報

自分のからだは自分で守ろう！！
～生活習慣病の予防に健診を受けましょう～

腎臓を守るシリーズです！

腎臓は、体内で最も血流が豊富な臓器で、毛細血管が集まっています。
この血管は、血管の壁が薄く、高血圧、高血糖等により傷つきやすいことに加え
「喫煙は血管最大の敵」と言われています。

～タバコの煙にはたくさんの **有害物質** が含まれています～
タバコを吸うと…体に何が入るのでしょよう？



腎臓がどのくらい正常に働いているかを知るには、血液や尿をとることが必要です。
健診を受けることで、一度にいろいろな体の様子がわかります。
無駄に腎臓を傷めないために、**年に一度は健診を受けましょう。**

年に一度は健診を受け、からだの状態を知っておきましょう。



平成28年度 長野自動車道沿線騒音調査等結果公表について

村では、長野自動車道沿線の騒音等を把握するため、年1回村内の2地点（坂北向原地区、坂井古司地区）において騒音レベルや交通量を調査しています。その結果を公表します。

平成28年度については、平成28年5月4日（水）正午から5月5日（木）正午まで調査を行いました。調査結果は、2地区ともに下記の表のとおり環境基準を下回っています。

また、当該時間内における長野自動車道の1時間あたり平均交通量は、安曇野IC～麻績IC区間で昼間（午前6時～午後10時）2,124台、夜間（午後10時～翌午前6時）480台、麻績IC～更埴IC区間で昼間2,131台、夜間482台という結果になっています。

環境基準との比較

単位：dB

調査地点	等価騒音レベル		環境基準	
	昼間	夜間	昼間	夜間
坂北（向原地区）	64	57	65	60
坂井（古司地区）	58	56	65	60

※昼間：午前6時～午後10時、夜間：午後10時～翌午前6時

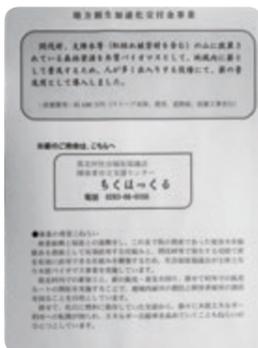
今回導入したストーブの薪は、今年度から新しく林業に取り組んでいる社会福祉協議会が運営する「障害者自立支援センターちくほくほくくる」で作っています。ちくほくほくくるでは、村内最大の資源である農業・林業と障害者雇用を合わせた農林福（農林業と福祉）連携事業という新しい試みに挑戦しています。



庁舎の新ストーブ

役場庁舎に薪ストーブを導入しました。
国の地方創生加速化交付金を活用し、役場庁舎入口に薪ストーブを導入しました。筑北村総合戦略では、森林資源を有効活用しながら、村内で林業分野における雇用創出を行うという目標を掲げています。

担当…総務課 宇都



ストーブに掲示されている事業説明書き

村では、ちくほくほくくるによる農林福連携事業の人材育成等を支援し、遊休荒廃地や里山に人の手が入る仕組みづくりを一緒に進める一方で、村内に広がる松枯れ被害木や間伐材等の薪としての利用を促進することで、地域内の自然エネルギー循環を拡大し、化石燃料への依存を減らすことを目指しています。
この地域でも、かつては多くの家庭でかまどの煮炊き、暖房からお風呂に至るまで、薪を使って生活し、人と里山の関係もより身近なものでした。
今回の薪ストーブ導入をきっかけに、役場庁舎を訪れた皆様には、昔懐かしい炉辺のひと時を過ごしていただくとともに、都市部では味わえない、筑北村ならではの「本物の暮らし」を感じていただければ幸いです。

「犬の飼い方・しつけ方相談ひろば」を開催します

1 目的

最近、生活の質的豊かさを求める中で、人間は、犬を番犬としてよりは、むしろ家族の一員もしくは人生のパートナーとして飼うようになってきました。

その一方で、幼齢な子犬の時期に適切なしつけを受けられず、咬み癖や無駄吠え等の問題行動を起こす犬となってしまう、悩んでいる飼い主が見受けられます。

そこで飼い主が困ったり、悩んだりしている犬の行動を、飼い主自身が改善できるようにサポートし、家庭犬との楽しい共同生活が送れるようになることを目的としてこの教室を開催します。

2 名称

平成29年度「犬の飼い方・しつけ方相談ひろば」

3 主催

長野県動物愛護会松塩筑支部

4 開催期日・時間・場所

開催期日	時間	場所
平成29年4月 9日（日）	午前9時～午前11時	信州スカイパークドッグラン横（長野県松本市神林 5300）
5月14日（日）	同上	同上
6月11日（日）	同上	同上
7月 9日（日）	同上	同上
8月 6日（日）	同上	同上

5 内容

長野県動物愛護会松塩筑支部しつけ方部会員（愛犬インストラクター）が相談に応じます。

- 犬に関する疑問、質問にお答えします。
- 犬の飼い方やしつけ方についてのアドバイスをします。
- 犬の問題行動をお聞きし、犬を観察しながら問題行動を改善するためのアドバイスをします。

6 参加方法

- 参加当日、会場にて午前9時より受付を行います。（※雨天などの場合は会場で、中止かどうかを判断します。）
- 飼い主のみでも、犬を連れてでも参加できます。
- どの日でも、何回でも参加できます。

7 参加費用

- 1回につき500円
- テキスト（500円）を販売します。

8 問い合わせ先

- 動物愛護会松塩筑支部事務局 0263-40-1943（松本保健福祉事務所内）



筑北村議会だより

第68号

平成29年3月17日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7501

長野県東筑摩郡筑北村西条4195番地

電話 0263-66-2111

FAX 0263-66-3370

議会12月定例会

一般質問

12月の議会では、11人の議員が一般質問を行いました。

早期に学校統合の解決を



鎌田 欣子 議員

質問 村が合併して12年が過ぎ、いまだに解決されていない学校統合についての問題、特に中学校に関して尋ねる。

教育長 小学校での児童数の減

若者定住対策は



横山 敬 議員

質問 若者定住について何う。
副村長 若者定住という課題に関して、オール筑北村役場、すべての業務が関わると認識している。

企画財政課長 空き家バンクを活用した若者定住は、平成24年度から村外からの移住件数は32件で世帯主の年齢が40代以下の割合は65.2%となっている。
空き家に関する情報提供は若者定住にとって非常に有効であると考えている。

ホットスポットちくほく

住民福祉課長 結婚祝い金として1件5万円を支給している。
出生祝い金として1子、2子に一人5万円、3子以上で一人10万円を支給している。不妊治療に対する補助制度があり、不妊治療を行った方に対して2分

少による複式学級への移行や専科教員の廃止、中学校での部活動や生徒会活動の存続の危機などがある。統合により、喫緊の課題を解消し、大人数による学校生活の中での児童・生徒の能力を伸ばし、社会自立の基礎など、基本的な資質を養うことが重要である。

質問 PTAへの説明をどのようにしているか？例えば通学の方法・PTA作業（筑北小・作業の困難さがある）

教育長 2年ほど前から聖南中学校においてはスポーツ・文化活動委員会を開催し部活動の存続、廃止もしくは統合他検討。生徒会活動も今のかたちでの存続は困難であること。また坂井小学校では来年においては1人が転出すれば、複式学級になるという課題がある。通学の方法他については委員会を設け検

の1の補助率で、年間10万円を限度として補助し、一組の夫婦に対して通算5年間までの補助を行う。

学校統合の将来見通しは



佐藤 文男 議員

質問 今後筑北地域で人口増加が見込めず、筑北地域での学校統合が必要であると提言書にはあるが、将来見通しがあまり説明されていない。そこで5、10、20、30、40年後の予測生徒数を尋ねる。

教育長 小学校は、平成28年度135人で順次減少し、40年後は、95人前後と予測され1学級当たりは15名前後となり、複式学級になる可能性はない。又中学校は平成28年度92人で順次減少し、40年後は45人前後と予測され、1学級当たりは15名前後

討していく予定である。

質問 中学校において統合せずに生徒数が減少した場合①村の負担と専科の先生はどうなるか②組合立による経費はいくらか尋ねる。

教育長 ①中学校では10教科なので2教科が村費負担である。

教育次長 ②組合立の経費は平成28年度で1千3百33万円である。大規模な校舎の改修は協議のうえ基金等も盛りながら進める。

「道の駅がた」更なる運用

質問 売り場面積・出店者数・品数も少ない状況である。仕組み、経営方法を尋ねる。

産業課長 ①24時間無料で利用できる駐車場、清潔なトイレ（身体障害者用も併設）があること②情報発信機能③地域連携機能④施設及び施設間を結ぶ経路はバリアフリー化であること⑤経営は指定管理施設である。

質問 売り場面積を増やす方法、委託ではなく経営を任せられる人での経営を考えては如何か。

村長 位置がJ・R・国道に並行

となり、日常授業が可能と考えている。

質問 小中一貫校は各種の形態があるが、小学校・中学校を併設して、将来小中併設一貫校に取り組み考えはあるか何う。

教育長 村財政の後年度負担があまりにも重いこと等、今現在教育委員会として考えていない。
質問 今後麻績村と小学校、中学校とも両組合立の可能性について何う。

教育長 多くの議論をし、一定の結論を出してきた経過がある。現時点でも小学校、中学校共に両組合立学校の考えはない。

質問 今回中学校の組合立を解消するが、後程麻績村から組合立の申し入れがあった場合はどう考えているか何う。

教育長 今のところ、教育委員会のレベルでも、そういった話は一切ないというのが現状。

質問 坂井小学校等をいつ頃まで利用していく考えか何う。

教育長 村内で中学校1校、小学校1校の存続を考えている。将来にわたり坂井小学校及び聖南中学校を利用と考えている。
質問 子どもにとってより良い

している。村の特産品（マツタケ等）をPRしていかなくてはいけないのでは。次年度で垂れ幕を付けてPRしていきたい。拡張については畦畔が高いので多くの経費がかかる。検討していきたい。

タブレット端末の導入を

質問 課長会議、議会に導入する予定はないか尋ねる。

総務課長 議会規則において電子機器は禁止となっている。使用ルールについて検討を進める必要がある。



タブレット・・住民福祉課が行政サービス導入の可能性を調査中です

環境を優先して将来どうあるべきかを含めて検討して頂きたい。

要援護者避難施設の物資・機材

質問 社協との契約を尋ねる。
住民福祉課長 3施設を対象として、災害発生時における福祉避難所の設置運営を締結済み。

質問 福祉避難所の物資や機材の確保状況について尋ねる。
住民福祉課長 対象者の受け入れに要した経費は、村が実費を負担する。発電機や蓄電池等の数や内容を社協と協議中。

質問 要援護者の受入れ等設置運営マニュアルはあるのか何う。
住民福祉課長 社協で実務のシミュレーションを行い作成中。

筑北村内の雇用環境は

質問 働く場所の数と合計雇用人数と今後の見通しを尋ねる。

産業課長 事業所数170、合計雇用人員が1140人で、平成18年以降いずれも減少傾向であり今後も減少と考えている。

質問 商工会の会員数と現状と課題について尋ねる。

**県道大町麻績インター
千曲線の見直しは**

産業課長 会員数は133名で年々減少傾向。地域の人口減少や経営者の高齢化等様々な要因により厳しい経営環境から抜け出せない状況にある。各種の支援制度を設けており、活用を事前に商工会及び産業課に相談願いたい。

村長 企業誘致も重点的に考えていく。



待井 安登 議員

質問 差切地籍・生坂村境において、落石により橋梁が被災し、人・二輪車以外が全面通行止めとなっている。一ヶ月が経過するなかで、被害状況と復旧見込みについて尋ねる。

建設課長 松本建設事務所による現場確認だと、落石は60tほどの平均使用料と比較して102%になる。

冠着荘は平均使用料と比較して60%である。旧館を閉鎖し、宿泊の減収が主な原因と考えている。

質問 2施設全体を含め改善する点はあるのか伺う。

企画財政課長 冠着荘の売上減収が大変懸念される。温泉施設モニタリング委員会での改善に関する意見等を指定管理者へ伝えるとともに、指定管理者からは経営改善についての計画書が提出されている。

質問 売上も重要だが、保養施設であるため、どれだけ多くの人が利用しているか、という点も重要である。また、経営は共立メンテナンスであっても、現場で従業員として支えているのは住民が中心である。

立ち上げた新規事業の見直しは

***各課から回答を得た中で建設課を抜粋**

質問 来年度の予算編成にあたり、近年立ち上げた新規事業のうち、今までの成果、事業の継

どであり被害状況は橋桁に亀裂が生じるなど重大な損傷が認められた。新しい橋に架け替える方針である。

質問 生坂地籍の山清路橋は2t車以上の通行はできず又、差切側は大曲り、トンネルなど大型車両、重機は通行できない路線であり、工期が延びるような懸念はないか尋ねる。

建設課長 路線状況を加味し最適な工法で積算中とのことであり、早期の架け替えを検討し、5月連休前の開通を目指したいと聞いている。



落石による被害のあった千尋橋

続・廃止について現時点での検討内容を伺う。

建設課長 建設課関係の新規事業としてスマートインターチェンジの設置があげられる。平成26年度に構想を掲げ、平成27年度に準備段階調査が実施された。本年度については、概略設計、概算事業費の積算を行っている。

質問 スマートインターチェンジについては、村として事業化を推進し、達成させるといふことでよいか尋ねる。

建設課長 次年度以降、早い段階で事業化していきたい。継続して取組んでいく。

学校統合の検討内容は

質問 行政懇談会や関係者へ説明をした結果、どのような意見がだされているのか伺う。

教育長 出された意見を区分すると「質問」「賛成意見」「反対意見」「要望」の4つがあった。保護者の不安を解消する努力をしていきたい。

また、説明責任を果たすため、12月13日に2回目の保護者説明会を開催し、保護者の意見、要

質問 通行止めによる中込地区の皆さんへの災害、救急など緊急時の対応について尋ねる。

総務課長 麻績消防署と協議を重ねるとともに、生坂村・生坂村消防団にも協力を依頼している。消防車両については、被災の千尋橋中込側に軽積載車を配備し火災時の初動態勢をとる。救急については明科消防署による対応となっている。

質問 国道19号と本路線入口を結ぶ新橋梁の工事が進んでいるが、進捗状況と完成予定について尋ねる。

建設課長 平成22年度から橋梁延長136mを含む延長442mのバイパス事業に着手している。平成27年度は犀川右岸の橋台が完成し、本年度は左岸の橋台と道路築造工200mの工事を行い平成32年の完成を目指すという計画と聞いている。

質問 本路線は国道19号、403号を結び、大北・上田圏域など広域的にも重要路線である。

度重なる災害により、通行止めも長期にわたる事も多く、トンネル化を含めた抜本的な改良

望を聞いていきたい。

質問 住民や関係者と対話を強めていただきたい。

今後、児童数が減少し、学校編成が苦しくなるという説明から、学校統合は急がなければならぬ。

教育長 将来、坂井小学校において小学校を存続し、中学校においては聖南中学校を存続していく。リーダーシップをとりながら進めていく。

千曲線開通の目標は



中村 弘 議員

質問 子ども議会を開催する目的と、重点的に学習している内容、取り組みについて、現在の状況と、今後継続して開催する方向なのか、また中学校での実施する計画はあるか、尋ねる。

教育長 今年2小学校の6学年社会科の政治的内容「私達の生

を村として県に強く働きかけてほしいと考えるが如何か。

村長 県も差切山清路間では山清路橋をはじめ落石防止などを実施しているが、同盟会による県要望では、トンネル化も選択肢の一つという道路整備の在り方を検討するとの回答である。

主要地方道でありトンネル化による整備について、12月県議会では地元清沢県議により、県にただしていただいた。平成32年新橋梁の完成後も引き続きトンネル化という事で進んでいきたいと考えている。

2温泉施設の今後の展望は



沖村 智 議員

質問 2施設の現状を伺う。

企画財政課長 西条温泉とくらの売上は村が直営していた平成22年度から平成24年度(3年間)

活と政治」において、現在20時間をかけて学習をスタートした。修学旅行の体験活動による「わが国の政治」から始まり子ども議会の参加型体験学習を通して「筑北村をよくするための具体的な提案」として「私達の暮らしと憲法」と学習を展開していく。来年1月20日に子ども議会を開催予定である。

今後の見通しは、毎年子ども議会を開催する方向である。中学校での開催は未定だが、小・中学校の社会科学習や地域学習等も視野にいれ、検討していきたい。

質問 小学6年生が身近な村の政治の勉強し、それを解決するための考えや要望をまとめ議場で一般質問をすることは、児童が村を考え、政治を身近に感じる機会であり人材育成のためにも続けて欲しい。

**スマートインターチェンジ
整備計画は**

質問 ①設置予定場所及び規格について、②現在の進捗状況と今後の対応について。③概算工



延命事業申請のあった「杉崎枝垂れひがん桜」

神明宮の森全体と坂井漸^{さか}のブナ原生林である。村指定の文化財のパトロールを定期的に実施していない。数百年経過する中で劣化しているのは認識している。本年度坂井の「杉崎枝垂れひがん桜」の延命事業として、申請があり補助金交付をした。地域のシンボルとして愛されている指定樹木の現状把握をし、地元住民と相談しながら後世に残す努力をしたい。

事費及び村費負担額とその財源について尋ねる。

建設課長

①長野自動車道本城バスタップ付近を設置候補地として、全車両を上下線出入り（フルタッチ、フル車両）が可能となるように調査検討及び協議調整を行っている段階である。②平成28年度において概略設計、概算事業費の積算業務委託を行っている。国の準備段階調査も2年目であるので国土交通省関東地方整備局長・長野国道事務所から助言を頂き早期に設置の実現を目指す考えである。③村の工事費負担は、料金所、ETCゲートをラインとしてアクセス側（国道まで）が村の負担である。現段階ではまだ未確定部分が多いが、国の交付金（過疎債、合併特例債の活用）の充當を考えている。相当額の村の負担となることは予想される。

質問 筑北スマートインターチェンジは、総合戦略を進めるうえで重要な事業である。早期に実現できるように期待する。



スマートインター候補地（長野道本城高速バス停付近）

公共施設等の総合管理計画は



小山 正博 議員

質問 平成26年に総務省は、今後の人口減により公共施設の利用状況が変化、また老朽化による維持管理費の増大が見込まれるために「公共施設等総合管理計画」の策定を要請している。具体的な対象施設を尋ねる。

枯損木等の倒木対策を



太田 守彦 議員

質問 強風などで人家や公共施設へ倒木する恐れがある枯損木の把握状況を探る。

産業課長 白骨化して危険な枯損木について、住民や施設管理者から報告を受けるが、特に集計してはいない。本城、坂北地域の長野自動車道沿線を中心に、激害地に多く分布している。

質問 倒木により実際に発生した被害状況の把握はしているか。

産業課長 倒木して電線を切ったり、伐倒燻蒸した材木が道路に転がり出たりする被害がある。詳細な統計はとっていない。

質問 白骨化した枯損木の処理には国や県から補助金を受けられない。しかし、村民を守る観点から調査すべきであり、計画を尋ねる。

総務課長 役場の庁舎施設、公民館、地区の集会所、農産加工施設、体育施設、学校・保育園施設、消防関係等施設。公営住宅などの建物系公共施設は353、上下水道施設45、合せて398施設である。

質問 情報通信網等の設備やソフト面での処理能力を含めて管理計画の対象となるか尋ねる。

総務課長 それらは別関係で検討するので、管理計画には含まれない。

質問 策定内容・項目・進捗状況を探る。

総務課長 施設の現状、計画の目標と期間、管理に関する考え方、計画運営と進捗管理、管理の基本方針など9項目を策定する。県との協議を行い調整後、計画案について住民等のご意見を頂き、その後公開する。

ごみ減量化対策は

質問 長野県が、一人一日当たりのごみの排出量が少ないランキングで日本一となった。ごみ減量トップ10に県内6村がランキングしている。筑北村は、県

産業課長 林務係職員による踏査、住民等からの情報収集、森林監視委員の協力等により対策を進める。

質問 林務係ではなく、集落職員担当制度により、担当地域の職員が調査に同行出来ないか尋ねる。

総務課長 活動計画は年度当初に決めるため、検討したい。

村長 松クイ被害が広がっている中で、伐倒燻蒸処理についても人家の近くを優先するよう指示した。

質問 国道や県道沿いにある危険な枯損木について尋ねる。

建設課長 松本建設事務所が道路維持係へ都度連絡しているが、1、2本単位では対応してもらえない。

質問 学校の松や桜で老木化して危険なものはないか尋ねる。

教育次長 特に桜が顕著である。記念樹などであっても、危険であれば伐採はやむを得ないと考える。

質問 伐採した木材を薪として販売する計画について尋ねる。

住民福祉課長 社協において木質バイオマス自立創成事業とし

平均の838グラムより少ない807グラムである。現状と減量対策を尋ねる。

住民福祉課長 筑北村は、県下77市町村中55番目である。一般廃棄物処理実施計画と筑北村分別収集計画に基づきごみ処理を進めている。一般家庭からの排出の可燃ごみの有料化も一つの対策である。資源ごみのコンテナ収集の徹底を図り、分別の区分やごみの出し方の基準に従って、適正に排出されるように周知徹底を図っている。また衛生週間時の5月上旬に、常会に可燃物袋を配布して、地域内の環境衛生の向上を図ることで不法投棄に対する意識を高めている。

村指定の天然記念物の管理は

質問 旧3村当時より村指定の天然記念物が多数ある。長年の風雪に耐え、老朽化が著しく、中には道路に接するものもあり、天然記念物の現状を尋ねる。

教育長 村指定の樹木は、本城地域で1件、坂北地域5件、坂井地域4件の計10件あり、8件は1本の樹木を、2件は刈谷沢

て取り組み、今年度は機材の整備や技術講習を行う計画である。
質問 倒木による危険性を考えた場合、産業課だけでなく全庁的な課題であると考ええる。



昨年の台風18号による倒木

学校給食をセンター給食へ

質問 栃木県大田原市への視察において、市内10の小中学校はセンター給食であった。また、坂井小学校へ統合した場合は給食室の改修が必要とのことである。将来を考え、麻績村と共同でセンター給食を実現すべきと思うが如何か。

教育長 自校給食とセンター

教育長 11月上旬に行なわれた3回の行政懇談会と、その後説明会を開催したが保護者の出席が過半数に達しないこともあ

質問 保護者説明会に欠席した保護者へどう対応していくか尋ねる。
質問 保護者説明会に欠席した保護者へどう対応していくか尋ねる。

村長 今の筑北小より環境が良い。「筑北村は一つ」ということから、子どもたちがどこへ統合してもバスで通うのは当然であり、また教育委員会のある所に学校があることも一つの理由である。そして医療機関も筑北小より近いところにある。一番は冠着荘から共立メンテナン

スが手を引けば経営も非常に難しくなる。このような中で、学校も保養センターもないことになれば、坂井地域の活性化は望めない。常々「筑北村は一つ」と掲げており、3地域全体の活性化が大事だと考えている。

質問 村づくりは地方創生によって過疎の村が、安心・安全な元気の出る村づくりの一政策である地方創生加速化交付金事業と推進交付金事業により実施している事業内容と計画を尋ねる。
総務課長 地方創生加速化交付金事業は、ソフト事業を中心の補助事業で、森林資源の保全活



山崎 広道 議員

給食それぞれメリット・デメリットはあるが、自校給食を続けたい。
質問 生徒数が減少すると、一人当たりの給食コストは上がり、食材や調理員さんなど非効率である。貴重な村の財源であり、給食コストは検討すべきと考える。
村長 学校統合が最優先であり、一段落した後に協議する。

地方創生の事業内容は

用等のための事業と村のブランド価値向上のための事業である。
質問 平成28年度地方創生に係る交付金事業の事業名と担当課並びに交付金申請額を尋ねる。
総務課長 木質バイオマスの循環自立創生事業で産業課が担当している(1千2百万円)。
村のブランド価値向上のための事業として、民間のブランディング、マーケティングの支援業務を委託し、総務課、企画財政課、産業課で担当している。

その他事業①公式ホームページリニューアル事業が総務課。②フットパス整備関係関連事業は総務課、企画財政課。③登山道整備として、看板設置や改修事業を産業課、総務課。④サテライトショップ用移動販売車購入は、産業課、総務課。⑤タブレット端末を使った実証実験等も総務課と住民福祉課。これらの事業費として、約4千百万円である。

質問 国が推進している事業地方創生について、村長はこれから村づくりに、どの様に計画し今後実施していくかを尋ねる。
村長 地方創生が動き始め、今

り、また丁寧に説明していく考えから再度、12月13日に説明会を開催する。
質問 学校統合後の麻績村との関係をどのように考えているか尋ねる。
村長 麻績村とは、いつでも門を開けて現在も進んでいるが、これからも門を開けておく。

質問 村長選挙が10月に行なわれる。ここで学校統合案について、村民の真意を問う考えはないか尋ねる。
村長 この9年間における学校統合の検討経緯を考えたとき、先送りするのはよくないので選挙で問うことは考えていない。

高齢者の介護支援は



山田 寿 議員

質問 高齢者が家庭内での介護支援が期待出来ないとき現実に

まで約1億円の交付金をいただいている。各課共通で村の活性化につながる事業を計画し、実施をしている。今後、推進交付金を活用し、あらゆる角度で村の活性化につながる事業、ハード事業を含め、29年度予算編成時に検討し進めて行く。

来年度の予算編成は

質問 平成29年度当初予算編成は、通年よりも1ヶ月以上早めて、取り組みが始められたと聞いた。予算方針と財政シミュレーションを尋ねる。
企画財政課長 予算編成方針は、国、県支出金は制度の動向を的確に把握し、確実な歳入を見込んで、税収入や適正な受益者負担を確保する一方、更なる行財政改革に努め、中長期的な視点で健全な財政構造に改善する。財政シミュレーションにより財政状況を全職員が共通認識して行財政基盤の強化を図る。

質問 国が推進している事業地方創生について、村長はこれから村づくりに、どの様に計画し今後実施していくかを尋ねる。
村長 地方創生が動き始め、今

り、また丁寧に説明していく考えから再度、12月13日に説明会を開催する。
質問 学校統合後の麻績村との関係をどのように考えているか尋ねる。
村長 麻績村とは、いつでも門を開けて現在も進んでいるが、これからも門を開けておく。

質問 村長選挙が10月に行なわれる。ここで学校統合案について、村民の真意を問う考えはないか尋ねる。
村長 この9年間における学校統合の検討経緯を考えたとき、先送りするのはよくないので選挙で問うことは考えていない。

地方創生の「環」としての空き家対策は

質問 村の人口増加に寄与する移住者に長く居住してもらうためには売り手・貸し手との間のトラブル解決が欠かせない。その対策は十分に行われているか伺う。
企画財政課長 村は当事者の契

小学校統合に疑問



宮島 義次 議員

質問 この度、坂井小、筑北小の2校を統合して、坂井小を統合校として使う村の統合案を理解できない者として①なぜ坂井小に統合するのか②通学負担が大きくなる児童が増える点③財政面についてを尋ねる。
教育長 質問①は、坂井小学校舎は木を十分に使った校舎で、木特有の温かさやぬくもりがあり豊かな人間性をはぐくむことが可能であると考えられる。また、河川や山等の自然環境があり、生活科、理科、社会科等の学習で課題追求型学習が展開できるよ

さもある。②は、本城、坂北で距離は現在より約9キロメートル、時間で概ね10分から15分増えると考えられる。バスに乗りしている時間は、その地域の特性、

約には関与しないが、売買・賃貸契約の締結前に種々の報告書の提出を願っている。売買の場合は媒介する宅建業者の対応が可能であるが、賃貸の場合は対応が困難だ。契約前に物件の瑕疵の確認は行っているが、物件の状態を専門に評価するインスペクション制度(*)を検討したい。(※インスペクション制度＝既存住宅現況検査)

道の駅の展望は

質問 道の駅は国交省が関与し、土地は村有とのことであるが、全国的にみても地域の活性化の拠点の様相を呈している。道の駅の企画構想を担う人は誰か、又、活性化の構想並びにその方策を伺う。
産業課長 直売所・食堂等の地域振興施設は村の所管で産業課が維持管理している。

質問 多数の人が往来する。観光等の情報発信・防災福祉サービスの提供など種々の企画が考えられる。検討をお願いしたい。

筑北小学校

村の人口を増やすため
A) 観光客を増やすための工夫について・・・「四季に応じたイベントの開催・お花見・桜餅など

B) 村の特産物のPR・はげかけ米の良さやおいしさを知ってもらうために生産従事者を増やしては。など

C) 住宅・防犯環境を改善し、若者等が少しでも暮らしやすい村に・・・夜、暗いので街灯を増やして欲しい他。

坂井小学校

D) 修那羅を村の観光資源として発信する・・・TVのCMコンテストに参加してはどうか？
・集客の方法バスツアーの計画・イベントの充実

E) 学校統合について・・・聖南中に登校の方法は・通学校を選択できないか？

『村長他が答弁しました』



初めての こども議会
1月20日 筑北村 議場において 開催
【2校で30名の児童が参加】



「子ども達が村を考える良い機会となりました・・・」 坂井小・宮崎先生

修那羅の石仏のゆるキャラを募集し売り出したらどうか？

村長 答弁より
B) 米生産に従事する人をふやすには非常に難しい問題で、もし皆さんのお家でお米を作っている家庭がありましたら、率先してお手伝いをさせていただき、将来はお米農家や兼業農家になってくれることを希望します。

委員会ごと3名の議員が、3回各小学校へ訪問し、授業に参加して助言をしました。こども議会にも参加し、6年生が提案する意見に、耳を傾けました。今回の子ども議会は、TV放映もされたので、お母さん方は見たかたが多く、「子ども達が発言する姿を見られて良かった」「自分の子が出て意見を言う姿にハラハラしました」



議会改革研修に参加
第2回目の開催となった、議会改革・シンポジウムに全員で参加した。
1部「議員のなり手不足について」と題して宮田村から提言を頂いた。①議会基本条例作らない取組について②議員定数と選挙③議員報酬について・・・筑北村議会に於いても同じ問題で勉強会を開催し、審議中である。そして各議会から議員になった動機、特に若い議員の方へ質問がされた。わが村からは沖村議員が代表して発表した。
2部「政策提言のあり方について」は議会からの提言どのようにするか、発表と話し合いがされ、有意義な勉強会であった。



道の駅 さかきた

学校統合

質問 旧3ヶ村の合併時から検討されてきた学校統合だが「子どものため」の理念のもと、早期の決着が望まれる。多くの論点があるがその中で一点、教育等検討会議の正当性について伺う。

教育長 会の構成委員として正當に選出された保護者・PTA、村内外の識見者・教育委員が参加し、これまでの長い期間にわたる検討も加えて慎重に議論し

議会議員全員で2小学校を見学

たので、その結果出された教育委員会への意見書は村民の意見を概ね集約したものと考える。
*内容に関しては、文字数に制限があるので質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。

去る2月2日に村議会議員全員が揃って、坂井小学校、筑北小学校を見学しました。
2校の校長先生や教頭先生、教育委員会事務局の説明を受けながら、統合問題を見据えて議員が同じ目線で審議できるように実施しました。通学方法も考えマイクロバスでの移動も行いました。



坂井小学校の教室にて



筑北小学校理科室にて



坂井小学校理科室にて



筑北小学校の教室にて

学校等統合の行政懇談会及び保護者説明会における質問・意見等の概要について

平成28年11月7日・8日・10日に行われた行政懇談会、11月23日・12月13日に開催した保護者説明会における質問・意見等の概要についてお知らせします。

意見の概況

1 質問

(1) 検討会議で最終的に坂井小にするのは、多数決で決めたのか。

(回答)

多数決という方法ではなく、委員の約8割の意見で坂井小にすることに決定。

(2) 教育委員会が考える適正な人数や、「こうなったら、まずい。」と思われる人数はどのくらいか。

(回答)

一概には言えないが、小学生

の移動は必要になると考える。

(16) バスに乗る時間がさらに伸びるということに関して、子どもの負担についてはどう考えるか。

(回答)

バスの乗車時間は今より多くなるが、なるべく負担がかからない方法を考えていきたい。

(17) 今、バスの時刻表で坂井まで30分かかっているが、本当に30分で着くのか。

(回答)

一番遠い乱橋地区で計算しても約30分の乗車で着くと思われる。(18) 金管バンドで、早バスと遅バスで通っているが、統合しても今と変わらないのか。

(回答)

坂井小が統合校になると通学距離が延びるため、今より約10分位早くなると思われる。

(19) バス内でのトラブルの対処法は考えているのか。

(回答)

バス内でのトラブルは承知している。スクールバス集会を開き、マナーやルールを高めてきているので、トラブルは減ってきている。(20) 冬は薄暗くなり、不審者等の対策や安全性はどう考えるのか。

は10人程度、中学生は20人程度と考える。

(3) 坂井が統合すると、麻績もそういう方向性で動く布石と考えているのか。

(回答)

児童数が減ってきているので、麻績村から統合問題が出されてくるのではないかと。

(4) 提言書について、麻績は了解したということなのか。

(回答)

麻績村筑北村学校組合議会で統合等に関する報告しているが、麻績の了解を得ることは必要ないと考える。

(5) 聖南中への就学ということでは、組合立を完全に解消することか。

(回答)

その通りである。(6) 組合立の解消は、いつになるのか。

(回答)

平成30年度より聖南中学校への段階的な就学を考えているので、平成32年度に解消を考えている。(7) 筑北中へ通いたいといった場合は、筑北中へ行けるのか。

(回答)

単に「筑北中に行きたい」という理由でいくことはできない。(8) 筑北中と聖南中で兄弟が分れてしまうが、そのような場合はどうするのか。

(回答)

筑北中に兄弟がいる場合は、区域外就学を考慮しつつ、麻績村との協議を行っていくことになる。(9) 32年度統合はどうして決まったのか。

(回答)

坂井小の見通しで複式学級が32年度から始まること、両小学校へ平等な教育サービスを提供することなどを考えて32年度とした。また、「教育等検討会議」が順調に進んだことも挙げられる。(10) もうちょっと先を見据えた統合の検討をお願いしたい。

(回答)

平成50年度までの筑北小・聖南中の人数を出しながら考えている。

(回答)

地域・家庭・学校・行政で、児童にとつて安全な状況づくりを考えていきたい。

(21) 中学校が聖南になった場合は、坂井のお子さんたちもバス通になるのか。

(回答)

公共交通機関等も視野に入れ、来年度立ち上げ予定の通学検討部会で検討していきたい。

(22) 電車での通学になった場合のお金の負担というのはどうなるのか。

(回答)

村での負担を考えている。(23) 筑北小と坂井小が統合したとき、今は通学カバンが布製のカバンとランドセルを使っているがどうするのか。

(回答)

筑北小が誕生したときカバン等の検討が遅くなり迷惑をかけたしまったため、今回は早めに検討していきたい。(24) ランドセルや体操着、校歌等の統一や準備はどのように考えているか。

(回答)

同右回答

(11) 坂井地域の子どもが「0」になった場合、保育園はどうなるのか。

(回答)

減少数の見通しをもって、随時保育園の在り方を探っていくたい。

(12) 統合校が坂井小になったら、学童は本城と坂北の子どもたちについてはどうするのか。

(回答)

来年度立ち上げ予定の部会の中で検討していきたいと考えている。(13) 別の小学校に通わせるのは仕方ないとの考えか。

(回答)

筑北村の小学校に通うことが望まれるような学校教育を行っていききたい。

(14) 保護者の反対意見も多い中でも、この統合案を押し通すのか。

(回答)

教育委員会では意見書で出された統合等案を重視して進めていきたい。(15) 坂井小の教室のスペースはどのくらいか。

(回答)

坂井小は56・16㎡で一人の暫定最低基準の1・7㎡で割ると33人は入れる計算だが、棚等

2 賛成意見

(1) 義務教育の新たな場所を提案して、子どもたちの教育の発展に努めていただきたい。(2) 本城から坂井に行くのも大変だと同じように、真田から聖南中に行くのも大変だ、筑北村の中でできれば1つになる方向で考えていただきたい。(3) 小学校は坂井小学校に、皆さんの不安な気持ちを教育委員会の方で納得ができるようにしていただいた上で、坂井小に来ていただきたい。

3 反対意見

(1) 筑北小になる前の本城の保護者が発言した意見は却下されている。バスに関しても柔軟な対応はされていない。(2) 本城の保護者に負担はかけないと言っていたが負担だらけだ。(3) 筑北小をきれいに改修すればいい。(4) 今の二つの小学校を存続してほしい。(5) これから麻績村と話していくというのはどういうことなのか、あまり納得できない。

4 要望

(1) 統合は説明したらいいという決め方はやめてほしい。いきなり説明会を開催しても来られない保護者がたくさんいる。(2) アンケートを取らないなら、小学校単位、中学校単位で説明をしなければいけないと思う。(3) 説明会に来られない保護者にどういった意見があるか吸い上げてほしい。(4) もう一度、学校統合案を白紙に戻して、より丁寧な話し合いをしていただきたい。(5) バス通学は保護者や地域住民との丁寧な議論を積み重ねる必要がある。(6) バスを4台走らせる経費があるのなら、現時点で1台バスを増やしてほしい。(7) サッカー場ができるが、小学校は近くにあっていい。(8) もう一度麻績村との交渉をお願いしたい。(9) 麻績としっかり話し合ってから決めてほしい。(10) 麻績との合併を先に手を付けていただきたい。(11) 通学時間が長くなるなどの子



筑北村の豊かな自然や情景、元気な子どもたちの様子、これから挑戦をしていく子どもたちの姿を表現しています。

筑北小学校の校歌を紹介し
ます。
筑北村の豊かな自然や情景、元気な子どもたちの様子、これから挑戦をしていく子どもたちの姿を表現しています。

いつも忘れずにいよう
ずっと約束しよう
挑戦を続けていくことを
強さと
やさしさ
時にまたきびしさ
未来へ進む筑北小学校
筑北小学校

筑北小学校校歌が完成し、お披露目が行われました。

平成27年4月1日、筑北小学校が開校しましたが、このほど同校の校歌が完成し、3月6日に同校でお披露目が行われました。

作曲は筑北村出身で、「ももいろクローバーZ」の楽曲や、「テレビ番組でテーマ曲や劇中音楽を手掛けている横山克さん」に依頼しました。

作詩は「ももいろクローバーZ」や「でんぱ組・inc」「ゴスペラーズ」などたくさんの方に提供している只野菜摘さんに依頼しました。



筑北村教育委員会事務局
こども支援課

以上が行政懇談会、保護者説明会における質問・意見・要望等の概要です。
教育委員会では出された質問・意見・要望等を筑北村教育のあり方に反映させ、住民・保護者の皆さんの不安等が軽減される状況づくりに務めてまいりたいと考えます。

子どもの負担を心配する村民の考えも考えていただきたい。
(12) 統合後の子どものケアをお願いしたい。

(13) 小学校・中学校が統合すると学校の位置が離れるが、どこに若者が定住するという見通しを持つてもらいたい。

初めての「子ども議会」が開催される
教育委員会事務局こども支援課

平成27年6月に、「公職選挙法等の一部を改正する法律」が成立し、平成28年6月に施行された法改正により、児童生徒が将来主権者として、政治活動を含めた社会参加を行うために、初等教育及び中等教育前期の段階から、社会科及び総合的な学習などにおいて、指導計画の改善が求められるようになってきました。

このような国の動向を踏まえ、筑北村でも、長年懸案となっていた「子ども議会」を、小学校六年生社会科の政治的な内容「わたしたちの生活と政治」の単元で取り組むことになりました。

二学期後半から三学期の前半にかけての社会科学習で、留意してきた点を三点あげます。
一点目、地域の実態を活かし、児童が興味・関心を持って学習に取り組めるようにすること。

二点目、観察や調査・見学などの体験的な活動やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること。
三点目、「筑北村の現状」に係

筑北小学校校歌（時）

時は僕らを育てる
時は季節と行く
輝きにあふれているふるさとで
せせらぎ
山の樹
そよぐ風
青空
実り豊かなれ筑北小学校

時はかけ足すぎる
時が戻らなくても
想い出は心とともに行く
笑って
走って
ころんでも
希望を追いかけていく
筑北小学校

いつも忘れずにいよう
ずっと約束しよう
挑戦を続けていくことを
強さと
やさしさ
時にまたきびしさ
未来へ進む筑北小学校
筑北小学校

わる話や提案内容への助言などに、村議会議員に参画していただくこと。

この結果、村議会議員からの筑北村に係わる現状などについて、具体的に紹介していただいたので、子どもたちの筑北村によせる思いや願いが高まり、問題意識を持ちながら、調査活動を進め、具体的な提案にまで準備を進めていくことができました。

1月20日（金）午後2時より開会された「子ども議会」における筑北小学校3グループ（A・C）、坂井小学校の2グループ（D・E）の具体的な提案内容を紹介します。

Aグループ「観光面の活性化」について、『四季に応じたイベントの開催』や『筑北村観光大使の任命』はどうか。

Bグループ「筑北村特産物の販売」について、『はぜかけ米就業者の増加』『村内外への宣伝』はどうか。

Cグループ「住宅環境や防犯環境などの改善」について、『シェアハウス』『街灯の増設』はどうか。
Dグループ「修那羅の観光資源」について、『テレビCM』『名物の

お披露目は、全校児童の前で、先生による合唱がおこなわれ、子どもたちも一緒に歌いました。

校歌は、3月15日の卒業式に歌い、心を込めて卒業生を送りました。

軽やかな楽曲と、温かな歌詞ですぐ口ずさむことができ、心に残る校歌となっています。



宣伝』『おみやげの充実』『道路の整備』『バスツアー・イベントの充実』はどうか。

Eグループ「学校統合」について、『筑北中学校の部活動』『聖南中学校登下校方法』『通学区区域』『統合小学校の校名と校歌』への見通しはどうか。

これらの具体的な提案などに対して、関川村長及び宮下教育長から、ていねいな答弁がありました。最後に、子どもたちの感想の一部を紹介します。

- ・特別な体験ができ、村のためにいい提案ができてよかった。
- ・はぜかけ米の作り方を教えてもらい、大変さがわかった。
- ・農業をやってみたいと思った。

次年度以降の見通しについては、小・中学校別なのか、小・中学校合同なのかは未定ではありますが、小・中学校の社会科学習や地域学習なども視野に入れながら、検討していきたいと考えております。



コラム

昔から道端にある「道祖神」は不思議な神様ではなかとと思われる。全国には、形は自然石から、石器をアレンジしたもの、男女が仲良く手をつないだ姿や肩を組んでいる姿、抱き合った姿、まれに一人の場合もあります。

何れも、道の神様としての道祖神は、中国にその原型があり、旅好きの人が神格化したようです。そこに日本の神話の同じような雰囲気を持った部分が結びつき、日本独自の「道祖神」が生まれたようです。

日本の神様は、ある地域の土地を守るために祀られ始める事が多く、侵入者を防ぐや農耕社会ならば害虫から作物を守る、また、境界線として意味であれば生死の境目あり、生は性器へ、そして子孫繁栄に、作物の子孫繁栄は豊作そのもの表していると感じます。

これから春のお祭りがありますが、色んな意味で昔から現代につながるものがあるとおもいます。

お祭り大好き男



地域とつながる「生活科・総合的な学習の時間発表」

2月2日、筑北小学校体育館において、生活科・総合的な学習の時間発表会を行いました。発表会には、つつじ応援団の皆さんを招待し、保護者の皆さんも見守る中、開催されました。発表会は統合して初めての取り組みとなります。「学習のまとめをする、表現力を高める、学校と地域をつながりを感じ、それを感謝する」そんな機会としてこれから大事に育てていきたい活動です。

発表会終了後、つつじ応援団全体会を行い、今年度の応援団の反省を出し合いました。地域の学習にもつながる遠足の充実や、学校独自の活動となる米作りや白菜栽培のことが話題となりました。坂井地域も含めた筑北村全体とつながっていくような活動が期待されています。今後ますます応援団との活動が盛んとなっていきますようご協力お願いします。

2年生

1年生

一年生は、老健にしじょうや保育園で行ってきた、オペレッタを、
二年生は大豆収穫から豆腐作りの様子を発表しました。

3年生

4年生

三年生は、白菜作り春秋2回の取り組みについてクイズ形式を交えて、
四年生は、デイサービスセンターで発表してきたけん玉の数々の技を披露しました。

6年生

5年生

五年生は、米作りから収穫祭にかけて劇を交えて振り返りました。
六年生は、子ども議会でのやりとりを再現し、成果をまとめました。

ホットスポット ちくほく

図書委員会では、児童集会読み聞かせ&ペープサートを行いました。始めは「こびとのくつや」の読み聞かせでした。そして次は「ねずみくんのクリスマス」というお話のペープサートでした。



読み聞かせ

12月 読書旬間

坂井小学校児童会では、学校生活の充実と向上に向けて自ら実践することを目標に様々な活動を行っています。その中のいくつかの活動を紹介します。

児童会活動

坂井小学校

発表している子どもたちも笑顔いっぱい、聞いている子どもたちも笑顔いっぱい、笑い声いっぱいの集会でした。



ペープサート

12月 冬のげんき週間

インフルエンザや感染性胃腸炎など、体調を崩すことの多い冬を元気に乗り切ろうと健康環境委員会が集会を開いてくれました。

集会では、かぜ予防戦隊フセグンジャーが登場し、風邪を引かないための7箇条を分かりやすく説明してくれました。

うがいブルー、正しくうがい・すいみんグリーン、よく寝る・運動ブラック、寒さに負けず動く・かん気ホワイト、空気の入れ換え・マスクレッド、ばい菌を広げない・えいようイェロー、ビタミン摂取・手洗いピンク、あわあわ手洗い

1月 給食週間

25日の児童集会では健康環境委員会のみなさんが給食のマナーについて劇を発表してくれました。



給食の時間のマナーについて「マナー向上戦隊マモルンジャー」が実際にやって見せてくれたり、模造紙でポイントを紹介してくれたりしました。



マナー向上戦隊マモルンジャー

熊本地震の募金

児童会では、6年生の役員が発案により募金をすることになりました。

村の夏まつり（7月30日）の際に6年生と4年生が、熊本地震の被災者や熊本城のために募金活動を実施しました。4年生の育てた花の苗を配りながら子どもたち、保護者、地域の方の協力により、19101円が集まり、12月14日に社協会長宮坂忠昭さんにお渡しすることができました。

この日は、偶然にも熊本地震からちょうど8ヶ月目の日でした。「熊本地震で被災された方や熊本城修復のために使ってください。」と宮坂佳成児童会長。宮坂さんからは、感謝の言葉と共に「皆さんのこの真心を日赤に送り、熊本のために使わせてもらいます。」とのお話を頂きました。



児童会長から社協会長へ



「おにはそと～！
ふくはうち～！！」
こわかったけど、おにをやっつけたよ。



よいしょ～！よいしょ！！
おもちつきって、
たいへんだな～！



いねばなを作ったよ。
きれいにできたでしょう？



お茶会をしたよ。
ちょっと苦かったけど、
お菓子は甘くておいしかったよ。

～保育園便り～

保育園のみなから、元気いっぱいなお便りが届きました！
みんなとっても楽しそうに過ごしていますね…



おいしい うどんにな～れ！

あんよでふんで～ふんで～
こうすると、おいしいうどん
ができるんだよ。

あれ？？
キティちゃんは？



国際交流で感じた故郷の大切さ！！ ～聖南中学校一年生が信大留学生と交流～

「私は、モンゴルがよりよくなるために、世界に学びに出ました。」

1月13日、聖南中学校では、一年生が信州大学の留学生と国際交流をしました。留学生は、モンゴルからのお二人。お一人は留学生日本語スピーチコンテスト（松本東ロータリークラブ主催）の優勝者です。



交流では、モンゴルの文化や言葉を教えてもらったり、モンゴルの伝統料理である『ポウス』と呼ばれるギョーザの皮を厚めにした蒸し料理をつくったりし、交流を深めました。お二人は、日本のことを「道が整備されている」「たくさんさんのコンビニがあつてとても便利だ」などと話してくれました。

「私には、海外に学びに行けるようにになりたい。」自分の国（モンゴル）の発展のために、日本まで来て勉強しているなんてすごいと思った。」



「私には、モンゴルがよりよくなるために、世界に学びに出ています。」とのこと。交流後の子ども達との感想には、「私も日本やふるさとのために、海外に学びに行けるようになりたい。」自分の国（モンゴル）の発展のために、日本まで来て勉強しているなんてすごいと思った。」

筑北村と松本短期大学との連携に関する協定書調印式

平成29年2月21日、筑北村と松本短期大学との連携に関する協定書調印式が行われました。協定書への調印の前に松本短期大学介護福祉学科釜土禮子教授より松本短期大学に村の子どもたちが行き、交流する等の活動報告をしていただきました。

この協定は、松本短期大学が人材を育成している保育や福祉、看護の分野で発展的な事業を展開し、平成29年度から村内2保育園で導入される信州型自然保育「やまほいく」において、共通理解のもと、松本短期大学から運営の仕方への指導や評価をしていただくこと、村は松本短期大学の学生の保育実習を受け入れたりなどの研修・研究の場を提供していきます。

また保育だけでなく、教育、文化及びスポーツの振興、健康、医療及び福祉の充実などの内容が協定に含まれています。



松本短期大学 木内義勝学長との堅い握手

この協定は、5年前に結んだ協定の更新であり、さらなる村と大学との多くの範囲での緊密な協力関係を築き、活力ある地域社会の形成や、地域に貢献することを目的としています。

バレーボール講習会

公民館では、3月5日(日)午前9時30分から正午まで元全日本女子バレーボール選手の高橋有紀子さんを講師に迎え、バレーボール講習会を開催しました。

高橋さんはバレーボール、ビーチバレーボールで4大会連続オリンピックに出場した実績をもち、現在は全国各地で指導者として活躍されています。



高橋さんのアタックを受ける生徒たち

今回は、聖南中学校と筑北中学校のバレー部生徒、一般参加者の25名が参加し、講習を受けました。

高橋さんからは「腕の力をつけないとトスも高く飛ばない。日頃の筋トレの積み重ねが大事。ボールが来る前にどこにボールが来ても取れる様、膝を曲げ体制をとっていること。また部活などの練習で一つひとつのプレーに100%の力で取り組んでいないと、試合で100%の力は出せない」と熱い指導がありました。

小学生の参加者も、中学生の講習風景を真似しながら、バレーボールの楽しさを実感していました。



ボールを受ける事前の構えが大事

ソフトバレーボール大会

3月5日(日)午後1時30分から、恒例となった公民館長杯ソフトバレーボール大会が坂北体育館で開催されました。

今年は昨年より1チーム多い7チームが、平均年齢40歳以下の部と、40歳以上の部に参加し、日頃の練習成果を発揮した熱戦が、繰り広げられました。

40歳以下の部では、時間差攻撃など多彩なコンビプレーが会場を沸かせていました。



高い打点からのアタック

40歳以上の部では、ベテランならではの味のあるプレーが飛び出し、笑顔あふれる大会となりました。



なかなかボールを落としません



40歳以下の部優勝

40歳以上の部優勝



しんちゃん

MKR②

行って見ましょ見て見ましょ

歴史ロマン・東山道

乱橋・西村地区(別所・岩殿寺)



春迎える乱橋・西村

今回は、1000年以上前の東山道(官道)が通っていたのではないかと思われる地域を紹介します。平安時代等の旅人は、京の都から貴族の下の役人が輿の乗り物・牛車に乗って移動して旅をしていったと思われま。決して、庶民ではないので、下の貴族であつても、諸国の旅で自分の足では移動しないと考えるのと、ここ西村地区をそれなりの大きな東山道(官道)が通っていたと思われま。そして戦国時代ロマンで、重要視しされていた家があり、西村を優先していた事実がありそう



林を見ながら歩く

川沿い近くを歩くことはなく、今では河川整備が出来ていますが、当時は自然体の川の流れであり、一度川の増水や氾濫が幾度もあるので、旅人は山沿いを歩いていたと思われま。

ここ岩殿寺も古く、比叡山天台宗の流れであるので、1000年以上前から人の行き来があり、寺の周りは、岩殿山を修行場として、特別な場所として考えてみれば、「別所」との地名がうなずけると思われま。



歴史ロマンを見守る岩殿寺

心の伝言板④7

第72代横綱 稀勢の里

大相撲初場所。結びの一番で横綱白鵬の猛攻を土俵際で踏ん張り勝利をおさめた稀勢の里は、優勝37回の天才を破り、第72代横綱となった。日本出身の横綱の誕生は、実に19年ぶり。新入幕から73場所での横綱昇進は昭和以降最も遅い。初土俵を控えた中学の卒業文集に「天才は生まれつきです。もうなれませぬ。努力で天才に勝ちます」と書いてから15年。大好きな言葉だという努力と根性を体現して大きな夢をつかんだ。

亡き先代師匠鳴戸親方は、土俵を背にする不利な体勢からの稽古を何度もさせ、「土俵の丸い俵は生命線。土俵の外は断崖絶壁だと思ひ、稽古し精進しないと強くなれない」と指導したという。その言葉通りに必死で稽古し、立ち会いの変化に頼らず真つ向勝負に徹してきた。

優勝直後のインタビューで「自分の力で、ここまで来られたのではない。我慢して腐ら



ずやっできて本当によかった。もつと稽古して、もつと強くなって、よい姿を見せられるように頑張り期待に応えたい。自分が納得できる相撲をしっかり取っていきたい」と語った。横綱昇進を受け、父貞彦さんは「これまで以上に真剣に取り組み全ての力士の手下となるように。誰に対しても敬意を持った言動を心掛けて」と注文した。横綱は強いだけでなく品格も求められる。今まで以上に息の抜けない厳しい日々が続く。重圧を力に替え頑張つてほしい。

「横綱の名に恥じないように精進する」と口上を述べた稀勢の里。〇〇の名に恥じないように精進するという言葉に、はっとさせられた人も多かったのではないだろうか。



熱が入った練習風景

ママさんバレーチームを紹介
します。毎週木曜日夜8時〜9
時半まで、坂北体育館で生き生
きと練習しています。筑北村の
合併前までは、本城・坂北と別々
に練習し大会に出場してしまし
たが、今は合同練習として、坂
北体育館で活動しています。会
員数は、本城・坂北を合わせて
20人ぐらいですが、家事に追わ
れ、練習日に来る人数は半数ぐ
らいです。練習風景を見ている
と、本城さんながらに激しくレ
シーブやトスを交えて練習を

家庭婦人バレーボール部



三味線を楽しむ会

三味線を弾きたい人達が集ま
り、坂井公民館で月一回から三
回ほど活動をしています。
三味線もたくさん種類があ
りますが、練習で使っている三
味線は、民謡三味線といつてさ
おの長さが短い物です。
練習曲は、武田節・花笠音頭・
炭坑節・稗搦節などの民謡曲や
民謡ではない曲にも挑戦をして
弾いています。
民謡三味線は民謡を唄いなが
ら弾く、弾き歌いの特徴となり
ます。また、民謡を歌うことで
三味線の音を覚えることも出来
ます。

三味線の弦を押さえる位置
や、音取りも慣れが必要となり
ます。一般的には、音取りが出
来るまでには10年と言われま
す。三味線の音取りは、尺八と
合わせますが、尺八に合わせる
ことはとても難しいです。

指導は、坂井の西澤さんが
しています。
モットーは、楽しく!!



三味線を弾くことが難しく感
じてしまいますが、このように
継続出来ているのは、指導者も
坂井の方ですし、メンバー同士
で無理をせず楽しく弾いて行こ
うとする思いがあるからだと思
います。
お互いに無理をせず三味線を
楽しんでる姿がとても印象的
でした。



本城の多目的ホールで、毎週
月曜日午後8時から10時まで卓
球を楽しんでいます。メンバ
ーは7人で、30代から最高齢は78
才です。

卓球クラブ

大会は年に3回ほ
どで、ここ筑北の谷で、麻績・
坂北・本城の各チームが、競り
合っているそうです。今後の部
員を増やすのも大変で、柔らか
いボールを使ったソフトバレー
が人気ですが、お子さんが部活
でバレー経験のある方を誘いつ
つ、体力作りの場として頑張っ
ています。

とくろ窯作陶会

本城の作陶場（本城体育館駐
車場横）で毎週木曜日午前9時
半からそれぞれが作品作りに
取り組んでいます。クラブ長
の北澤克典さんにお聞きした。
「メンバーは30代後半から84歳
までの13（男6・女7）人で
す。旧本城村時代の昭和40年代
後半に公民館の陶芸クラブと
して始まり今月に入り、新しい
クラブ名が決まりました。第一
の木曜日に本田先生の指導を
お願いしていますが、後は各々
が作陶に励んでいます。今年
は『どんぶり』をテーマに作品を
作っています。」



中々 全員が集まりません

「今は、粘土を6種類を使用
し、うわぐすりは17種類使っ
ているが、釉薬の値段が高いのが
悩みの種ですね。」



陶芸用の電気釜

年に4回焼いています。素焼
き800度で1週間、本焼き
1230度で1週間焼いて出
来上がります。来週から素焼き
に入るとのことでした。



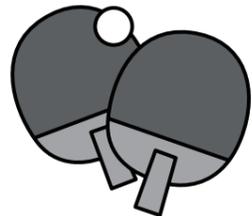
文化祭での展示作品

『無心になれる』『作品すべて
に失敗はない』『自分で作った
ものには愛着がある』それぞれ
が作陶場に来て作品づくりを
し、仲間作りをして楽しんでい
る陶芸クラブでした。



一緒に汗を流しませんか

クラブ長の松館政秀さんにお
話しを聞きました。「クラブ結
成して20年以上になる。花見や
暑気払い・忘年会と楽しんでい
る。一緒に卓球をしてみません
か」とお誘いがありました。



館報編集後記

館報第68号をお届けします。
早いもので、年度末になりま
した。この一年も村民皆様のご
協力のおかげで無事館報を発行
することが出来ました。ありが
とうございました。

温暖化の影響か年々積雪量も
減り筑北の雪景色も変化してき
ています。

来年度春にはサッカー場の完
成が予定されていて、大会の誘
致や合宿など今後の利用者の拡
大が楽しみです。秋には村長、
村議会議員選挙が行われます。
これからの筑北村を託す大事な
選挙です。人口減少、少子化対
策学校統合など、課題が多い中
住民の協力、団結が必要です。
いろいろな面で変化の年になり
そうです。

来年度も村民の皆様喜んで
いただける館報作りをしていき
たいと思います。引き続きご協
力をお願いいたします。

REI

ホットスポット ちくほく

「やまほいく」とは子どもたちに豊かな自然環境と多様な地域資源を活用した、屋外を中心とするさまざまな体験活動を積極的に取り入れる保育のことです。やまほいく認定園になると、筑北村の豊かな自然を生かした魅力ある子育て環境である保育園として県のホームページにアップすることができます。保育園では、この筑北村の豊かな自然の中で「未来に向かってたくましく生きる力の基

菜の花畑へのお散歩。いい匂い♡



信州型自然保育 「やまほいく」2園で導入

礎を育む」ことを目標に、自然の中の遊びから子どもたちが気づき、考え、創り出す力、またコミュニケーション力や人間関係を築く力などが今まで以上に育まれ、心身ともに健やかにたくましく成長できるようにと願いを持ち、やまほいく認定に向けて保育内容を整備していきます。さらに地域の方々と連携を益々深め、「やまほいく」活動にご支援・ご協力をいただきながら、自然体験・農業体験などを体験することにより、感謝の気持ちを持ち、将来に向けて故郷を愛する心が育つことも期待できます。今後もお一層地域の方々のお力添えをよろしくお願いいたします。



田植えをしたよ!



山へお散歩たのしいな

子育て支援センターでは、平成29年4月に保育園年少クラスへの入園を予定している親子を対象に、10月から3月までの9回、保育園ごっこあそびを行っています。

保育園ごっこあそび

家庭での生活スタイルを見直したり、園の環境に慣れていくようお願いながら、お母さんや友達・先生と色々な遊びを楽しみ、できるだけ無理なく入園が迎えられる事を願っています。

(こんな遊びをしています)

- ・小麦粉粘土 ・新聞紙遊び ・ブーメラン作り ・コマづくり
- ・散歩 ・ビニール凧作り ・サーキット ・ごっこ遊び ・リズム 等々



参加された皆さんからは…

「普段センターで遊んでいる時とはちょっと違った子どもの顔や成長をたくさん見ることが出来た。」というご感想も頂きました。お母さん同士が仲良しになったことも心強いです。



4月からはお母さんと離れて、環境の全く違う新しい世界に飛び込んでいきます。安心して保育園で過ごせますよう、温かく見守ってきたいですね。

子育て支援センターだより

☎ 22-66-2975

「豆まき」 ～鬼が来たよ～

～もうすぐ暖かい春ですね～

暖かい日差しやそよ風に一日一日春の訪れを感じる頃となりました。まだまだ寒暖の差がありますので体調を崩さないよう、健康管理には十分気を付け元気に過ごせるようにしましょう。

天気の良い日は外に出て春を探しに出るのもいいですね子育て支援センターでも、春の遊びを計画しています。

いつでも お出掛け下さい。

子育て支援センターでは、節分行事の豆まき会を行いました。お母さんと作った可愛いお面と、新聞紙を丸めて豆にして「おにはそと」「ふくはうち」と豆まきごっこをしました。優しい鬼の登場でしたが、ちょっぴり怖かったようです。伝承行事はこれからも経験し、大事な行事として受け継いで行って欲しいと思います。

お正月のあそび

放課後児童クラブでは、お正月のあそびを楽しみました。

筑北小学童「ともだちクラブ」では、地域の方にこまあそびとめんこの遊びを教してもらいました。こまは回るようになるまで頑張り、上手に回せるようになりました。



めんこは珍しいようで遊び方を教わると、グループに分かれ遊びカードをはじかせて喜んであそびました。



おには、そと!

鬼と福の神だよ

また、坂井小学童「なかよしクラブ」ではかるたあそびをみんなで楽しみました。昔ながらのあそびは魅力いっぱいです。これからも親しんで欲しいと思います。



めんこっておもしろい



コマ回し頑張ったよ

あそびに来る方へ

<センターへの持ち物>

飲み物(水かお茶)、おむつ、おしり拭き、お手ふき、ティッシュ、ごみ袋など各自必要な物
※行事へは、サポートノート、筆記用具をお持ちください。

子どものことの心配を誰かに相談したい、話を聞いてほしいなど、お悩み等がありましたら、いつでも、遠慮なくご相談ください。子ども相談室(67-1020)もご利用下さい。



筑北村図書館だより

新春特別企画 山崎図書館長による「ありがた〜い」話

山崎図書館長は、刈谷沢神明宮・麻績神明宮の宮司、私塾の講師など、多彩な顔をお持ちです。1月8日の新春特別企画では、お正月に聞けばこの一年が楽しく過ごせるお話と、読み聞かせをしていただきました。



越高 令子さん 講演会

子どもの本の楽しさをこいっしょに！
～絵本から物語へ導くには？～

多方面で活動されている「ちいさいおうち書店」の越高令子さんの講演会を2月19日に開催しました。

ご自身の経験から、『今の子ども達は本を読んで想像するのが苦手なので、読み聞かせてあげることが大切。本の面白さを子ども達に伝えるには、読み手自身が楽しんで本を読んであげて欲しい。』という話がとても印象に残りました。



☆イベントのお知らせ☆

「春休みおはなし会」開催

日時 3月29日(水)10時00分～
場所 筑北村図書館2階多目的室

本城地域のおはなしボランティア団体「おはなしポケット」による春休みにぴったりの楽しいおはなし会です！工作もあります！参加無料です。皆さんご参加ください。

4月9日(日)1周年記念

図書館移転1周年記念として、筑北村で活動されているおはなしボランティア3団体による「おはなし会」を開催します。ドキドキわくわくするおはなしが盛りだくさんです。

☆読書の記録を残せる「読書通帳」を先着50名様にプレゼント。(希望の方のみ)
☆どんな本が入ってるかわからない「なに？これ！袋」を先着60名様に貸し出します。
☆ブックマーカー(三角しおり)作ろう！ぜひ皆さんお越しください。

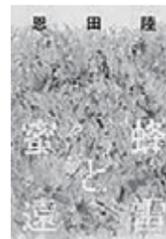
直木賞・芥川賞受賞作決定!!

第156回直木賞・芥川賞の受賞作が決定しました。受賞作は図書館にありますので、ぜひご利用ください。

直木賞

蜜蜂と遠雷
恩田 陸 著
【内容紹介】

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説です。



【著者紹介】

恩田 陸
(おんだ・りく)
1964年宮城県生まれ。「六番目の小夜子」でデビュー。「夜のピクニック」で吉川英治文学新人賞と本屋大賞、「中庭の出来事」で山本周五郎賞を受賞。

芥川賞

しんせかい
山下 澄人 著
【内容紹介】

19歳の山下スミトは演劇塾で学ぶため北海道を目指す。辿り着いた先の<谷>では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた…。文学界の異端者が自らの原点を描き出しています。



【著者紹介】

山下 澄人
(やました・すみと)
1966年兵庫県生まれ。富良野塾2期生。劇団FICTIONを主宰。「緑のさる」で野間文芸新人賞を受賞。

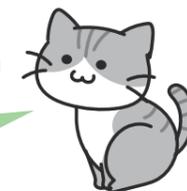
島 利栄子さん 水木十五堂賞受賞!!

筑北村坂北出身の島利栄子さんは、「女性の日記から学ぶ会」を平成8年に設立し、会の代表を務められ「記された想いを未来へ繋ぐ」活動をされています。

長年の活動が高く評価され、歴史・伝統文化・自然など様々な分野において、蒐集を行うとともに博識をもって社会貢献した人物として、第5回水木十五堂賞を受賞されました。



受賞を記念して館内に島さんの著書を展示した「島利栄子さんコーナー」を設けました。貸出できますのでぜひ、ご利用ください。



【問 合 せ】 筑北村図書館 電話：66-1115 (22 電話は使えません。) FAX：66-3656